

第35期概況

第35期は、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益とも過去最高額達成

当社の主要販売先であります薬局におきましては、大手薬局チェーンのM&A等による規模拡大によって業界再編が進む一方、薬局業界を取り巻く環境は厳しさを増しており、薬局業務においての付加価値が求められる状況となっております。平成30年4月に実施された医療保険と介護保険の同時報酬改定による業績への影響が、当初予測していたほどは出ず、営業体制を強化し、システムの拡販に努めた結果、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益とも過去最高額に到達することができました。



新中期経営計画

2018年、EMシステムズは、より社会に貢献できる企業を目指して変革します。

当社グループを取り巻く環境は、「2025年問題」に象徴される超高齢社会に対応するため、国民の健康寿命延伸を支援する仕組みづくり、ITの活用、地域での健康サポートを行う仕組みづくりへのニーズの高まり、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師に対する適切なサービスの提供等が求められています。

この事業環境の変化に対応し、より社会に貢献できる企業を目指して、本中期経営計画を推進してまいります。

基本方針・戦略

①製品の差別化

- 先進テクノロジーを活用した高付加価値製品の提供
- 完全クラウド化：医療・介護連携支援ソリューション

②販売チャネルの拡大

- サポートディーラー・OEM供給先の拡大

③人材の活性化

- 人事評価指標の変更、社員への期待値を明確化

④他社製品との情報連携推進

- 医科・調剤・介護で共通に使用でき、他メーカーにも提供可能な共通エンジンの実装

⑤M&Aの推進

- お客様数の拡大を目的に事業とのシナジーを考慮し実施

ビジネスモデルの変遷

